

平成29年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月4日

上場会社名 キャリアバンク株式会社
 コード番号 4834 URL <http://www.career-bank.co.jp>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 橋本 正太

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	4,442	5.7	88		90		22	
28年5月期第3四半期	4,202	11.2	21		20		22	

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 70百万円 (%) 28年5月期第3四半期 27百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	23.14	
28年5月期第3四半期	23.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	2,613	1,085	30.6	806.01
28年5月期	2,099	1,051	37.0	781.37

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 800百万円 28年5月期 775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期				13.00	13.00
29年5月期					
29年5月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,988	6.9	98	188.7	95	178.1	31		31.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年5月期3Q	993,000 株	28年5月期	993,000 株
期末自己株式数	株	28年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	993,000 株	28年5月期3Q	993,000 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たすため、質の高い人材サービスの提供を通じて双方が求めるニーズに応えてまいりました。当第3四半期連結累計期間は、北海道の市場を基盤としながら東北地方においても雇用環境の改善を念頭に企業業績の拡大と地域の活性化に向けた業務を推進し、収益の拡大を目指してまいりました。

人材派遣関連事業においては、観光業関連及びコールセンター等の派遣ニーズに対応することができ、売上高及びセグメント利益とも前年同期を上回りました。人材派遣関連事業(関東)においては、入札案件の受託に加え年末年始のイベント関係の受注により売上高及びセグメント利益とも前年を上回りました。人材紹介事業においては、前年以上に求人ニーズに対応する人材の確保が難しくなっており、成約数が伸びず、売上高が前年同期を下回りましたが、海外からのインターンシップの受け入れが拡大したことにより、セグメント利益は前年を上回りました。再就職支援事業においては、雇用環境の改善により契約金額の大きな事業が減少したため、売上高及びセグメント利益とも前年同期を下回りました。ペイロール事業においては、給与計算処理等の業務が順調に推移したことに加え、マイナンバー関係の新規受注により、売上高及びセグメント利益とも前年同期を上回りました。その他事業は、語学研修事業の売上高が前年同期を上回り、当連結会計年度から本格的に開始したストレスチェック事業により売上高及びセグメント利益とも前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,442,197千円(前年同期比5.7%増)、営業利益88,194千円(前年同期は営業損失21,148千円)、経常利益90,640千円(前年同期は経常損失20,560千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益22,979千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失22,934千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ514,247千円増加し、2,613,440千円となりました。これは主に売掛金等の増加が現金及び預金の減少を上回ったことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ480,391千円増加し、1,527,632千円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ33,855千円増加し、1,085,807千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月11日に発表いたしました平成29年5月期(平成28年6月1日から平成29年5月31日)の業績予想に關し、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、株式会社札幌ランゲージセンターを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(訴訟損失引当金)

当社の子会社である株式会社セールスアウトソーシングは、平成29年2月27日付で東京地方裁判所より損害賠償金の支払を命じる判決を受けました。株式会社セールスアウトソーシングは、当該判決を不服として東京高等裁判所に控訴しておりますが、第一審判決通りに確定した場合に備え、訴訟損失引当金10,316千円を計上しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,040,571	728,621
売掛金	606,455	1,271,797
その他	64,065	49,090
貸倒引当金	△1,153	△4,758
流動資産合計	1,709,939	2,044,751
固定資産		
有形固定資産	53,292	150,617
無形固定資産		
のれん	7,934	67,456
その他	84,435	103,257
無形固定資産合計	92,369	170,713
投資その他の資産	243,591	247,358
固定資産合計	389,253	568,689
資産合計	2,099,193	2,613,440
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,898	55,380
短期借入金	400,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	19,920	119,920
未払費用	269,455	298,435
未払法人税等	13,297	28,070
未払消費税等	19,753	91,458
訴訟損失引当金	—	10,316
その他	32,921	55,214
流動負債合計	818,246	1,258,794
固定負債		
長期借入金	220,320	255,380
その他	8,674	13,458
固定負債合計	228,994	268,838
負債合計	1,047,241	1,527,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	63,240	62,911
利益剰余金	401,574	411,645
株主資本合計	721,055	730,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,472	70,059
為替換算調整勘定	△624	△493
その他の包括利益累計額合計	54,847	69,566
新株予約権	3,599	4,784
非支配株主持分	272,449	280,659
純資産合計	1,051,952	1,085,807
負債純資産合計	2,099,193	2,613,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	4,202,465	4,442,197
売上原価	3,443,361	3,543,603
売上総利益	759,103	898,594
販売費及び一般管理費	780,251	810,399
営業利益又は営業損失(△)	△21,148	88,194
営業外収益		
受取賃貸料	12,822	11,725
その他	4,194	6,073
営業外収益合計	17,016	17,798
営業外費用		
支払利息	3,527	3,078
賃貸費用	12,822	11,725
その他	79	549
営業外費用合計	16,429	15,352
経常利益又は経常損失(△)	△20,560	90,640
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,326
特別利益合計	—	7,326
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	—	10,316
特別損失合計	—	10,316
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△20,560	87,650
法人税等	△5,411	33,679
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,149	53,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,785	30,991
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,934	22,979

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,149	53,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,817	16,318
為替換算調整勘定	△1,129	255
その他の包括利益合計	△11,946	16,573
四半期包括利益	△27,095	70,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,454	37,698
非支配株主に係る四半期包括利益	5,358	32,846

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。